

B 1 個に応じた学習

実践 1	習熟の程度や誤答傾向を把握し、実態に合った問題を解く。	まとめ・表現
		アンケート機能を用いて、既習事項に関する選択式の問題を出し、即時に回答を集計した。そして、全体で誤答傾向を確かめ、誤答が目立った問題を取り上げた。 生徒は、正答と誤答とを比べながら、間違っただ理由をまとめている。
		アプリ等
		・ Google フォーム

実践 2	教師が作成した問題に、自分のペースで取り組む。	まとめ・表現
		事前に、教師が生徒の実態に合わせて問題を作成し、共有フォルダに保存した。 生徒は、教師が作成した資料を開き、自分のペースで問題を解いていた。教師のコメントを参考にしながら、次の問題へと進んでいた。
		アプリ等
		・ 教師作成のデジタル教材

実践 3	課題解決に必要な動画を繰り返し視聴する。	整理・分析
		課題解決に必要な動画を視ながら、自分のペースで取り組む時間を確保し、知識・技能を確実に習得できるようにした。 生徒は、必要な箇所を視聴したり試行したりを何度も繰り返し、少しずつ技能を高めていった。
		アプリ等
		・ 動画コンテンツ

実践 4	活動の様子を記録・再生して自己評価に基づく練習を行う。	情報の収集
		自分の演奏を録画・再生しながら練習する時間を確保し、知識・技能を確実に習得できるようにした。 生徒は、録画した自分の演奏を視聴し、改善点を具体的に捉えていた。そこを集中的に練習し、技能を高めていった。 アプリ等 ・ 画像・音声・動画記録再生機能 ・ Google ドライブ

県内学校の ICT を活用した授業報告があります。参考にしてください。

山形県教育センターICT 活用・情報教育のページ

[http://www.yamagata-c.ed.jp/ICT 活用・情報教育/](http://www.yamagata-c.ed.jp/ICT活用・情報教育/)